

町内河川の水質検査の結果を公表します

町では町内河川24カ所、ゴルフ場下流域5カ所で毎年1回PHやBOD、大腸菌群などの水質検査を実施していましたが、環境基本計画を策定した中で水質保全の重要性がクローズアップされたため、平成21年度から2回実施しています。

また、那珂川については、県が生活環境項目（PH、BOD、大腸菌群等10種類）を毎月調査し、健康項目や特殊項目、その他の項目は年に数回実施しています。

今回は、町内河川的那珂川及び権津川水系、武茂川水系のBOD値から水質汚濁の状況をお知らせします。

町内河川の水質汚濁の状況

グラフ1で示しているように、平成16年度から平成21年度における那珂川及び権津川水系のBOD値は、平成16年度で権津川上流と下流で環境基準値の2mg/lを上回っていました。その後は平成18

年度にも7・3mg/lで基準値を超え、水質汚濁の状況が深刻であると考えられます。

年度の合流地点で基準値を超えたものの、全体的に基準値以下となり、水質の汚濁が改善されてきています。

一方、グラフ2の武茂川水系では、⑳町堀1が年度によってばらつきがあり、平成17年度には16mg/lと環境基準値を大きく上回り、平成21

年度の合流地点で基準値を超える環境基準が強化される状況下で、水質が改善され、すべての地点で環境基準値が達成されています。

一方、北向田地区農業集落排水処理施設は平成7年に供用開始され、95・9%の高い水酸化率となっていますが、武茂川水系は平成18年に供用開始された公共下水道（馬頭処理区）が40・5%と水酸化率は低い状況です。

また、公共下水道と農業集落排水処理施設の計画区域外の地域では合併処理浄化槽の普及を推進していますが、現在、町全体で29・4%の普及率となっています。

公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の水酸化率は？

那珂川及び権津川水系は特定環境保全公共下水道（小川処理区）が平成5年に供用開始され、現在の水酸化率は84%です。

さらに、平成11年に三輪地区農業集落排水処理施設が整備され、

91・8%の高い水酸化率となっています。その後、酪農家における堆肥盤設置など水質汚

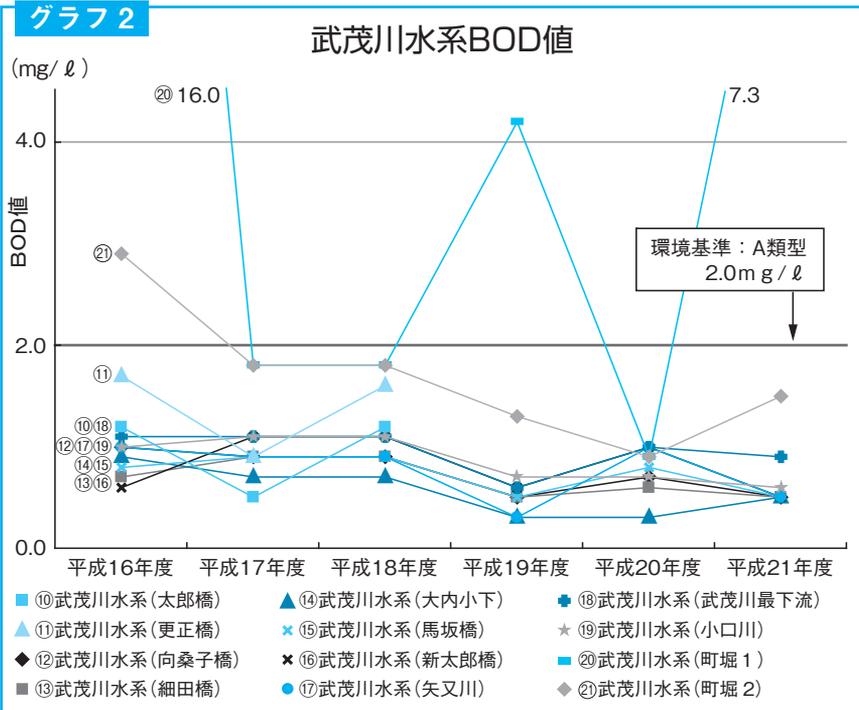
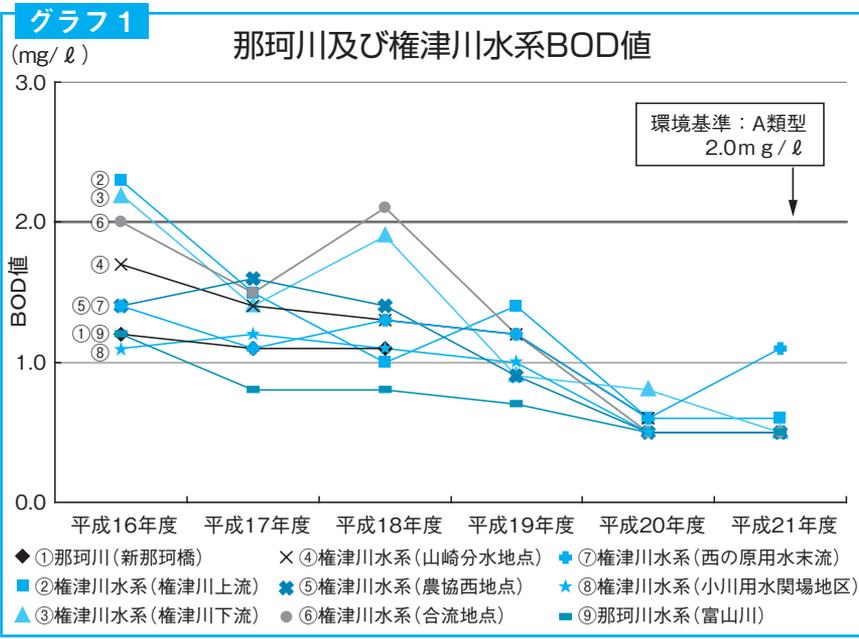
濁防止法の改正等で汚染に関する環境基準が強化される状況下で、水質が改善され、すべての地点で環境基準値が達成されています。

一方、北向田地区農業集落排水処理施設は平成7年に供用開始され、95・9%の高い水酸化率となっていますが、武茂川水系は平成18年に供用開始された公共下水道（馬頭処理区）が40・5%と水酸化率は低い状況です。

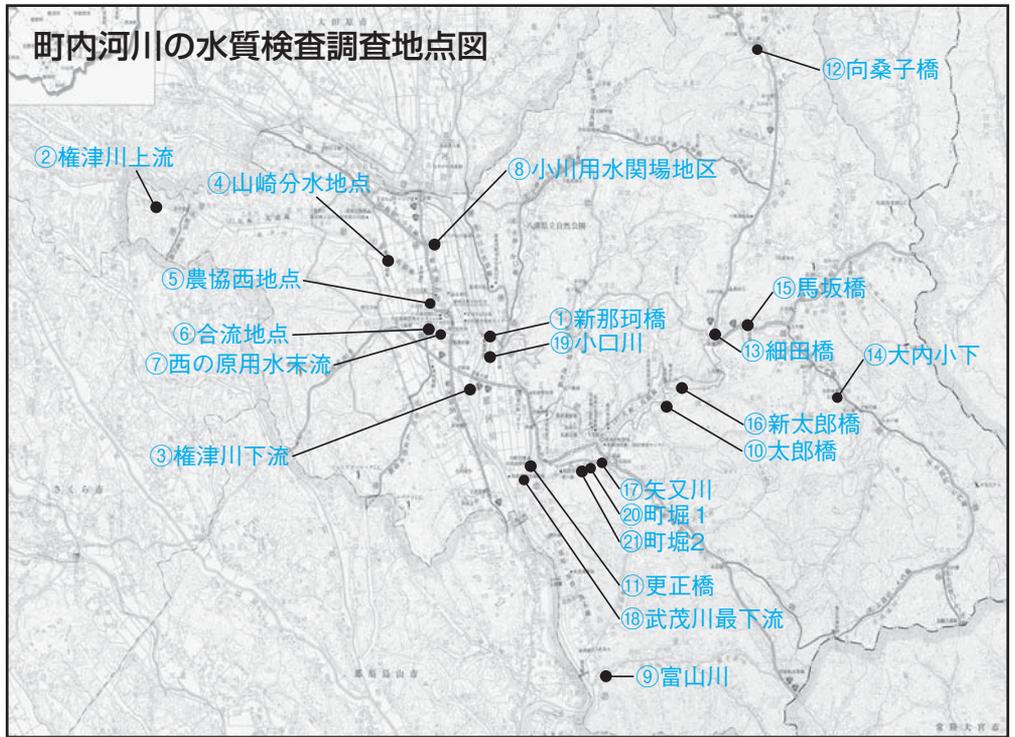
また、公共下水道と農業集落排水処理施設の計画区域外の地域では合併処理浄化槽の普及を推進していますが、現在、町全体で29・4%の普及率となっています。

このようなことから、武茂川水系の水質を浄化するためには、各家庭の公共下水道への接続と合併処理浄化槽の設置を推進し、水質の保全に努めることが課題となっています。

※グラフ1、2の平成21年度の採水地点は見直しにより過去の採水地点とは異なります。



町内河川の水質検査調査地点図



公共下水道へ接続しましょう

馬頭・小川地区の市街地を中心に下水道が整備されていますので、区域については上下水道課下水道係で確認し、区域内に居住する世帯は早期に接続をお願いします。

負担する費用

- ①受益者負担金（下水道整備費の一部を負担）
- ②排水設備工事（トイレの水洗化、台所や風呂などの排水を下水道に流すための工事）
- ③下水道使用料（水道の使用量に応じて計算します）

接続工事は指定工事店で！

排水設備は、町が指定した「排水設備指定工事店」で工事をしなければなりません。

工事を行う際は必ず指定工事店に依頼してください。指定工事店では諸手続きを代行します。

なお、工事費用については自己負担となりますので、指定工事店と十分に話し合ってください。ご不明な点は上下水道課下水道係までお問い合わせください。

問い合わせ

上下水道課下水道係

☎0287-92-2002

公共下水道・農業集落排水区域外の方は合併処理浄化槽を設置しましょう

家庭用の小型浄化槽には、し尿だけを処理する単独処理浄化槽とし尿と生活雑排水（台所と風呂の排水）の両方を合わせて処理する合併処理浄化槽があります。

合併処理浄化槽の性能はBOD除去率が90%以上、処理水質は下水道の終末処理の二次処理と同程度（BOD 20mg

／ℓ以下）と高性能です。放流される汚れが最小限に抑えられますので、公共下水道及び農業集落排水の区域外の方は、合併処理浄化槽の設置をお願いします。

合併処理浄化槽設置補助制度

町では河川の汚染を防止するため、合併処理浄化槽の設置を希望する方に、設置費用の一部を補助していますので、ご利用ください。

- ①交付対象区域（公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業区域を除く町内全域）
- ②対象となる建物
- ・専用住宅（おもに住居の用に供する建物）



BOD（生物化学的酸素要求量）とは？

水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量のこと、河川の有機汚濁を測る代表的な指標です。

環境基準では、河川の利用目的に応じて類型別に定められています。また、水質汚濁防止法により排水基準が定められており、BODが高いと溶存酸素（水中に溶解している酸素の量のこと）が欠乏しやすくなり、10mg／ℓ以上で悪臭の発生等がみられます。

合併処理浄化槽設置補助金

人槽区分	補助金額
5人槽	332,000円
7人槽	414,000円
10人槽	548,000円

※人槽は建物の面積により算出されます。詳しくは上下水道課下水道係へお問い合わせください。

- ・店舗併用住宅（延べ面積の2分の1以上を住居の用に供する建物）
- ・自治公民館（行政区または集落を単位とし、自治活動の拠点として集会の用に供する建物）
- ③補助金額